



長野県
改革・新風
会派だより

長野県議会
改革・新風 県政対話集会

2013年1月24日(木) 18時30分～
高森町福祉センター 2F大ホール

皆様 お気軽にお出掛けください

第7号 (2013年) 平成25年1月

発行・編集/改革・新風
長野県庁県議会棟内(026)232-0087
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
http://www.kaikaku-shinpuu.com

長野県議会 改革・新風 代表 倉田 竜彦

今年も会派一同がんばります！


吉川 彰一
(財務委員長)


齋 裕一
(広報企画委員長)


下沢 順一郎
(政務調査会長)


小島 康晴
(政策審議会長)


野澤 徹司
(幹事長代理)


竹内 久幸
(幹事長)


倉田 竜彦
(代表)


石和 大
(政策審議副会長)


依田 明善
(政策審議副会長)


中川 博司
(政策審議副会長)


続木 幹夫
(広報企画副委員長)


堀場 秀孝
(政務調査副会長)


荒井 武志
(政務調査副会長)


山岸 喜昭
(政務調査副会長)

代表年頭ごあいさつ

長野県議会 改革・新風 代表 倉田 竜彦

「改革・新風」県議団を代表して、年頭のご挨拶を申し上げます。

我が国の経済情勢は、欧州や中国など世界景気の減速等を背景として景気は急減速し、後退局面に入っていることが鮮明となっております。県内経済におきましても受注の

減少や中国向け需要の伸び悩み等により生産は弱めの動きとなっております。また雇用情勢については持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、厳しい状況が続いています。

私たちが「改革・新風」は、当面の県政課題に関して積極的に調査活動を行い、昨年にも会派独自の事業評価を行うなど他派に先駆けて改革に取り組んで参りました。

新たな中期総合5か年計画初年度となる平成二

十五年度は、我々県議会議員にとりましても任期の折り返しであり、依然として厳しい財政運営が求められている本県において、新たな総合5か年計画の着実な実施と震災からの復興、県民の安全・安心な暮らしに直結する施策を重視し、より身近で分かりやすい県政運営のために徹底した情報公開を推進し、県民が参画する県政の確立を目指します。

本年も県民の皆様方の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

阿部知事に提言

10月22日、県政全般に関する基本的施策27項目と各局別191項目の合計218項目に及ぶ「平成25年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を阿部知事に提出しました。主な要望及び知事のコメントは次の通りです。

◎厳しい財政状況の下での予算編成は、県民生活を重視した施策を柱に「経済対策予算」とすること

「政局優先の国への対応には議員各位からも協力願いたい。予算の執行状況のわかりやすさには工夫している」

◎「新交通ビジョン」の策定について、県民の暮らしに直結した視点

「政定され、総合交通政策局の設置を検討すること」

◎「本県なら新総合計画に合わせる形が望ましいが、必要であれば組織を見直す」

◎「中学校の30人規模学級について、市町村や教育現場と連携して3学年への導入を行うこと」

「中一、中二へと順次対応しており、三学年対応「予定」

◎「森林づくり県民税の継続については、間伐材の活用と観光客にわかりやすく推進すること」

「使途がわかる形で運用したい」

◎「外国資本から水資源を守るため「水資源保全条例(仮称)」を制定すること」

「所有権との関連はあるが水資源を守る観点で対応したい」

◎「新たな事業点検は第三者評価として機能するよう絶えず見直し、充実を図ること」

「試行結果を踏まえてどの点を残すか検討する」

◎「県短期大学の4年制化は県内産業育成に必要な人材育成を担う高等教育機関となるよう配慮すること」

「中長期的視点で対応し、できる限り県民に理解を得られる形でスタートするために丁寧に対応する」

本提案書は冊子にまとめ、ご要望に応じてお届け致します。ご希望の方は会派事務局までご連絡下さい。

11月定例会

41億8400万円余 補正予算などを可決

■経済・雇用情勢への対応

- ◆県内産業の活性化 県内企業の販路開拓支援 1531万円
- ◆県民生活の安全・安心確保
 - 補助公共事業費13億6650万9千円
 - 障害者グループホームの整備 4550万円
 - 高等学校の環境改善 6284万9千円
 - ◆観光誘客の促進 アルクマキャランの実施 17万3千円
- ◆雇用の創出
 - 緊急雇用創出基金の活用
 - 持続可能な資源循環型社会の形成
 - マイバッグ持参の促進 852万8千円
 - ◆その他
 - 児童養護施設等の環境改善 556万5千円
 - 指定管理者による施設管理
 - ◆県民生活の安全・安心確保
 - 補助公共事業費10億9152万9千円
 - (11月補正予算案合計)

寺島副代表が辞職

「改革・新風」寺島義幸副代表が、この度衆議院議員総選挙に長野3区から出馬するため、県議会議員を辞職しました。11月27日の本会議で挨拶し、「21年余の議員生活で高速交通網の進展、長

野冬季五輪の成功が思い出深く、中期総合計画策定や議会改革に参画できたことは、財産。今後住民一人一人の目線に心豊かな地域づくりのために渾身の努力をした」と語りました。

総選挙の結果、小選挙区で当選を果たしました。

県政対話集会

去る10月30日、千曲市戸倉創造館において「県政対話集会」を開催しました。千曲市・坂城町地域を中心におよそ260人が参加しました。

はじめに、千曲市・埴科郡区選出・荒井県議があいさつ。次いで倉田代表、千曲市龍澤副市長、坂城町山村町長があいさつしました。

その後、「改革・新風」の県議14名が自己紹介を行った後、参加者から発言をいただく対話形式で進められました。発言は8人からあり、聴覚障害者からは「バリアフリー化の推進や「福祉のまちづくり条例」に

この対話集会は年2回開催しており、次回は年明けの1月24日(木)に下伊那郡高森町で開催の予定です(詳細は最上段右端)。

40万2千円

◆雇用の創出・確保

緊急雇用創出基金による取組14億7000万円

11月補正予算案合計41億8436万9千円

うち経済対策関連事業41億3173万円

障害者の立場を十分入れて欲しい」などの要望がありました。県議からは、「県条例(の検討)では専門委員が集まっているので、しっかり伝えていく」と答えました。このほか、防災用備蓄、新幹線新駅問題、いじめ対策、広域焼却場問題、農業の担い手対策など、幅広く質問や要望が出されました。

今回の集会には、手話通訳や要約筆記の方をお願いしたところ、聴覚障害者をはじめ高齢者の方々からも「助かりました」と好評でした。